

平成30年

雲南市議会3月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 平成30年3月6日～8日】

平成 30 年雲南市議会 3 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	3/6(火) 9時30分～	8 / 細木照子	一括	1～2	11	3/8(木) 9時30分～	11 / 藤原政文	一問一答	20～22
2		20 / 深田徳夫	一問一答	2～5	12		1 / 上代和美	一問一答	22～24
3	3/6(火) 13時00分～	18 / 堀江治之	一問一答	5～7	13	3/8(木) 13時00分～	4 / 中村辰眞	一問一答	24～26
4		5 / 原 祐二	一問一答	7～8	14		10 / 周藤正志	一問一答	27～28
5		6 / 矢壁正弘	一問一答	8～10					
6	3/7(水) 9時30分～	2 / 中林 孝	一問一答	10～12					
7		3 / 松林孝之	一問一答	12～15					
8	3/7(水) 13時00分～	15 / 細田 実	一問一答	15～16					
9		7 / 白築俊幸	一問一答	16～18					
10		16 / 堀江 眞	一問一答	18～20					

平成 30 年雲南市議会 3 月定例会 一般質問通告一覧表

平成 30 年 2 月 28 日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	8	細 木 照 子 (一 括)	1. 高齢化社会への 行政対応について 2. 小中学校の視力 低下に対する学校 や地域での保健指 導などの実態につ いて 3. 小型無人飛行機 (ドローン) の活 用見通し及び安全 な飛行について	(1) 少子高齢化社会で、雲南市でも約 3 人に 1 人は高齢者である。それだから国、県、市の行政側に高齢社会対応が出来ているのか、高齢者は敏感に見ている。創意工夫をお願いしたい点は多々ある。しかし、誰しも高齢者の事は、高齢者になってみないと十分に解らないものである。行政をはじめ各機関・団体などでは、この点を十分に理解して、必要なら高齢者のアドバイザー等でも依頼し、真の高齢者社会対応の世の中づくりをしてほしいと考えるが、見解を伺う。 (1) 昨年の文部科学省の学校保健統計調査で、小中学校の裸眼視力「1.0 未満」の割合が過去最悪となったことが分かった。小学校では 3 年連続、中学校では 4 年連続の視力低下だといわれる。文部科学省では「スマートフォンなどの普及の影響も考えられる」としているが、学校現場や地域での生活の中で、この問題をどの様にとらえておられるのか見解を伺う。また、この状況にどの様な保健指導等対応が行われているか、実態や今後へ対する見解を伺う。 (1) 小型無人飛行機（ドローン）の活用が活発化している。確かに、上空からの地形や、災害現場の写真撮影、農林業での水田等への農薬散布等には大変便利であると思う。しかし一方、米軍機や自衛隊機の落下事故等がいろいろあった。機体の大小は問わず、上空にある物が故障すれば、必ず下へ落ちる。許可・承認を得て飛ばせるものの他、玩具協会の安全基準では 200 グラム未満のごく小型軽量のものは、14 歳以上なら誰でも飛ばす事が出来るようだ。危険事態が起こる可	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>4. 各地区の「交流センター」の集会スペースや駐車場の確保について</p> <p>5. カーブミラーの適切な設置について</p> <p>6. 身体障がい者用の駐車場の確保と市民の理解協力について</p> <p>7. 雲南市内のタクシーの状況について</p>	<p>能性も高まるのではと心配だが、安全活用について見解を伺う。</p> <p>(1) 地域自主組織の、各地区「交流センター」の集会室などは、その地区の集会等の利用に適切なスペースが確保されているか。それに付随しての駐車場も適切か。市としての判断を伺う。</p> <p>(1) 道幅が狭く、カーブが多く見通しの悪い道路では、カーブミラーは大変に重要な役目を果たしている。しかし、まだ必要とする場所に無い所や、鏡のサイズが小さくて良く識別の出来ないものもある。また、冬季の鏡面凍結も本当に危険である。カーブミラーの適切な配置について伺う。</p> <p>(1) 身体障がい者の方の話では、いろいろな集会施設等で、車椅子マーク等の表示された駐車スペースがあると、大変に助かると言われる。しかし、スペースの箇所数は、利用人数の多い所では足りない事もあるようだ。また、身体障がい者標識のない車も、よく利用されると聞く。雲南市として「福祉」の立場から、市民の理解協力が得られるよう呼びかける事は出来ないか伺う。</p> <p>(1) 高齢で運転免許証を返納された方、病気で運転を止められている方、運転免許証を持っておられない方、それぞれにタクシーがなくて困っておられる。福祉タクシーも、ままならないと嘆かれる。これらの実態をどのように見ているか伺う。</p>	
2	20	深田徳夫 (一問一答)	1. 山陰新幹線について	<p>(1) 山陰新幹線は交流人口・定住人口の特効薬である。雲南市はどう向き合うべきか。市長の山陰新幹線に対する所見は。</p> <p>(2) 北陸新幹線の運行は地域にとって、経済効果は多大であることが判明している。積極的な導入活動の先頭に立っていただきたい。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 竹島問題について</p> <p>3. 「地域医療を担う医療職の育成及びスキルアップ」について</p>	<p>その意気込みを伺う。</p> <p>(3)「新幹線のルート」は、山手側を貫通させるべきだ。空港からの距離からも相乗効果が発揮できる松江市と出雲市の間、雲南市に新幹線駅ができるように積極的な働きかけの所見を伺う。</p> <p>(1)竹島問題は県民として関心を持たねばならない、雲南市民としてどう関わるべきか見解を伺う。</p> <p>(2)県内中学生を対象とした「竹島・北方領土問題を考える」作文コンクールに木次中学生が表彰された。教育の必要性を中学生の作文が教えていると思う。教育の在り方はどうあるべきか伺う。</p> <p>(3)小中学校の学習指導要領の取り扱いは、固有の領土であることにふれる程度のことしかされていない。これで領土に関する教育が韓国に負けない教育になるのか不安視される。市から県へ更に教育に力を入れるよう働きかけが必要でないか伺う。</p> <p>(1)現在の診療体制について、予定されている診療科、医師確保、看護師、保健師等、示されているスタッフの確保は新病院として問題なくスタートが切れるか。</p> <p>(2)島根医大は、派遣の拡充策を打ち出している。当病院への派遣は希望通り叶うのか。</p> <p>(3)平成30年度の初期臨床研修を受ける研修医は、県内で昨年以上の方が内定されている。その中に雲南病院は含まれない。何故受け入れは出来ないか・当初から希望を出さなかったのは何故か。</p> <p>(4)医師不足解消や将来の医師確保のためにも大切な制度活用と思う。しまね地域医療支援センターでは指導医研修なども行われている。当病院の地域医療人材センターの受け入れと両センターの関係</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 検診について	<p>などどのような状況か。また、長年勤務されている当病院の先生の研修派遣制度などはどう整えてあるのか伺う。</p> <p>(1) 胃がん撲滅のため一次的な検診としてピロリ菌検診と補助制度など提案した。その答弁は、「国の指針・県・医師会・市立病院等と実施方法について検討したい」。そして会派代表質問では受診率向上を目指した「がん撲滅対策推進条例」の制定を求めたが、「その考えはない」という答弁であった。実施方法の検討はなされたか。また、理念条例の提案であったが、条例化をしない理由は何か伺う。</p> <p>(2) 全がん高死亡率は医療費増大の要因であり、がん対策が喫緊の課題ということは言うまでもない。平成30年度に国保保険者が県へ移行されるが、検診等の対策に変更はないのか伺う。</p> <p>(3) 全国で、中学生からのピロリ菌検診などが始まっている。がん撲滅を願うなら雲南市も積極的に導入すべきでないかと思うがその考えは。</p> <p>(4) 他県では、中学生等の保護者等の同意を得られた学生を対象にして、尿・便から陽性であれば無料で除菌に進む等の方法など実施されている。胃がん予防は「将来の贈り物」として取り組む必要があるのでは。市長に問う。</p>	
			5. 社会増を目指した取り組みについて	<p>(1) 人口増加を果たしている他の自治体の見解は、雇用や宅地開発が功を奏していると断言されている。外部識者の意見を聞く「戦略推進会議等」の設置の考えはないか伺う。</p> <p>(2) 企業団地も着々と敷地造成等が進捗している。効果的な企業誘致のためにスマートインターチェンジを利用する車両の無料化を提</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			6. 高齢者住宅対策 について 7. 待遇について	<p>案する。NEXCO 西日本高速道路や国・県に対し要望活動をしてはどうか所見を求める。</p> <p>(3)NEXCO 西日本に対して通過車両に応じ、雲南市が補助金などを交付する方法もありと思うが如何か。</p> <p>(1)住宅マスタープラン・雲南市公営住宅等長寿命化計画の中で、中村団地は平成 28 年度から 32 年度の予定で、計画的な立替えとなっている。政策空き家が続くが計画倒れはないか伺う。</p> <p>(2)独居等高齢者が多くなっている。高齢者が安心して暮らせるための『高齢者が集う個人住宅や集合住宅』が必要になってきた。市営住宅の改修・空き家などを活用し、安価で助け合い暮らせる施策を考えてはどうか。</p> <p>(1)待遇日本一に到達点があるとするれば、現在どの辺りと評価しているか。</p> <p>(2)昨年の視察先や、松江市宍道町の窓口では素晴らしい対応であった。こんな時市民から職員の待遇について意見があった。待遇について職員への指導・啓発あるいは研修が継続的になされているか伺う。</p>	
3	18	堀 江 治 之 (一問一答)	1. 国民健康保険事業について	<p>(1)平成 30 年度から国民健康保険法等の一部を改正する法律の施行により事業の実施主体が市町村から県へ移行されることとなっているが、事業運営等その概要について伺う。</p> <p>①事業実施主体移行後の事業運営が今までとはどのように変わってくるのか伺う。</p> <p>②移行後の雲南市とのかかわりはどのようになるのか伺う。</p> <p>③平成 30 年度の国民健康保険料の目安額が島根県から市町村別に</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 介護保険事業について</p> <p>3. 学校教育について</p>	<p>公表されたが今後運営主体の移行による保険料額、事業のメリット・デメリットはどのようになるのか伺う。</p> <p>④市民関係者への周知はいつ頃、どのようにされるのか伺う。</p> <p>(1)雲南広域連合の雲南地域第6期介護保険事業が平成29年度で終了するに当たり、これまでの事業検証と今後の事業計画について伺う。</p> <p>①平成27年度から平成29年度の3年間の第6期介護保険事業計画が終了するに当たり、実施されてきた事業はどのような検証がされたのか伺う。</p> <p>②第7期介護保険事業計画の概要はどのような計画となっているのか伺う。</p> <p>③雲南市内での施設整備並びに介護スタッフの確保計画はどのようになっているのか伺う。</p> <p>④2025年問題に向けての事業取り組みについての計画はどのようになっているのか伺う。</p> <p>(1)昨年全国学力テストが実施されたが、学校教育では学力向上のほかに、食育・体力づくり等も必要であり、生徒の体力・部活動・地場産食材の使用について伺う。</p> <p>①昨年実施された、小学校5年生・中学校2年生の全国体力テスト結果が公表されたが、雲南市内の結果はどうであったのか伺う。</p> <p>②学校の部活動における教員の負担が問われているが、市内の実態はどのような状況か伺う。</p> <p>③部活動に対する教員の負担軽減が必要と考えるが、軽減策はあるのか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>現に向けた、これまでの住まい・医療・介護・予防・生活支援の取組みについて問う。</p> <p>② 国が求める地域包括ケアの完成（2025年）と本市が目指すべき姿について問う。</p> <p>③ 住み慣れた地域で安定的な日常生活を送る基礎的要素である、生活支援・福祉サービスの地域間格差について認識を問う。</p> <p>(2) 生活支援コーディネーターの役割と期待される効果について問う。</p> <p>(3) 認知症の早期発見と徘徊対策について</p> <p>① 集団特定健診で行われているいきいき脳チェックの内容と利用状況を問う。</p> <p>② 認知症高齢者等徘徊SOSネットワークにおける、徘徊者の早期発見と身元特定のため反射材シール（オレンジシール・お守りシール）の事業化を問う。</p>	
5	6	矢 壁 正 弘 (一問一答)	<p>1. 住宅密集地（連担地）における除雪対策について</p> <p>2. 奨学金制度について</p>	<p>(1) 住宅密集地（連担地）における除雪が行なわれないのはなぜか伺う。</p> <p>(2) 今期の大雪では1週間以上も満足に通行ができなかった。防災上、危機管理上からも問題だと思われるが対策が取られたのか伺う。</p> <p>(3) 地域住民の皆様が除雪し易いように、道路両側に設置されている水路の床版をグレーチングに取替えてはと思うが見解を伺う。</p> <p>(4) 雪解けが早まるように融雪剤の散布等考慮されないか見解を伺う。</p> <p>(1) チャレンジ奨学金制度について伺う</p> <p>① 昨年12月に示されたチャレンジ奨学金制度について、奨学金制度</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. ヒートショック 対策について	<p>のない本市にとって良い施策と思っていたが、今回示された新規事業では補助金事業となった。なぜ奨学金制度ではなく補助金事業としたのか伺う。</p> <p>②スペシャルチャレンジ・ユース事業補助金は大学生が対象だが、各種専門学校生も対象となるのか。対象とならないのなら専門学校等に進学する生徒にも門戸を広げる考えはないか伺う。</p> <p>③まちづくりを担う人材の育成・確保に取り組むのなら、本市ならではの奨学金制度を創設し大学を卒業した後、本市に U ターンしてくれる制度を作るべきであると思うが見解を伺う。</p> <p>(2) 市立病院の奨学金制度について伺う</p> <p>①市立病院には「看護師奨学金制度」はあるが、医師奨学金制度が無いのはどうしてなのか伺う。</p> <p>②今後、医師奨学金制度を創設する考えは無いのか見解を伺う。</p> <p>(1) 市民の皆様はヒートショックに関しての知識が少ないと考える。本市として予防のリーフレット等作成し配布してはと考えるが見解を伺う。</p> <p>(2) 健康講座等開催し、ヒートショック予防に関しての知識を周知してはと考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) ヒートショックが発生しやすい時期に、音声告知放送や文字放送等で注意を呼びかけてはと思うが見解を伺う。</p> <p>(4) ヒートショック予防には住宅内を暖めることが一番であるといわれている。雲南市住宅リフォーム支援事業のエコ住宅設備工事の助成に暖房機器を加えてはと思うが見解を伺う。</p> <p>(5) 本市ではヒートショックによる健康被害よりも節電等の省エネ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 農業施策について	<p>意識が優先しているように思われる。平均寿命と健康寿命の差が縮まれば医療費や介護保険料の削減にもつながってくる。「健康都市宣言」を宣言している本市からヒートショック撲滅を宣言するような施策を全国に打ち出す考えは無いか市長に伺う。</p> <p>(1)環境保全型農業直接支払交付金の地域特認取り組みの冬期湛水管理について、平成 29 年度も満額交付となったようだが、平成 30 年度は廃止との説明があった。有機栽培を行なう農業者にとって大変な痛手であるが廃止の理由は何処にあるのか見解を伺う。</p> <p>(2)3 月定例会にコウノトリと共生するまちづくり事業が提案された。冬期湛水はコウノトリが安心して食べられる餌場ともなる。また、今後も拡大されようとしている環境保全型農業稲作の土台ともなる作業である。本市の事業として冬期湛水等の第 2 取り組み分について、今一度継続されないか伺う。</p> <p>(3)冬期湛水管理の補助の打ち切りは小規模農業に対する国・県の施策の一例に過ぎない。中山間地域の農業を守っているのは多くの小規模農家であり、条件の悪い圃場で自然と共生しながら環境保全型農業に取り組んでいる農業者を潰してはいけない。是非支援を継続してもらいたいと今一度市長の見解を伺う。</p>	
6	2	中 林 孝 (一問一答)	1. 大雪被害の総括と今後の対応について	<p>(1)2 月 7 日午後からの降雪は短時間に大雪が降っただけでなく非常に強い寒波を伴っていたため市民生活に大きな支障をきたした。今回の事態を総括してどう捉えるか、伺う。</p> <p>(2)未除雪期間中に火事や救急患者が発生し大事に至るような事例はなかったか、確認する。また、長期間、雪に埋もれていた消火栓も問題ではなかったか、危機管理の点から伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 清嵐荘改築整備 事業について	<p>(3) 水道管の破裂・損傷等の被害はどれぐらいあったか、防止策についても併せて伺う。</p> <p>(4) 児童生徒や保護者への連絡体制に問題はなかったか。通学路の除雪について関係部署との連携は十分だったか、通学路や朝の集合場所などの市道ではない場所の未除雪時の対応も含め伺う。</p> <p>(5) 農林関係の被害額はどれ位あったか。ハウス倒壊や農作物被害に対する支援策を考えているか、伺う。</p> <p>(6) 除雪基準について伺う。今回の経験を踏まえると除雪基準の見直しも必要と考える。また、緊急時の総合センターの役割が大きいと考えるが役割分担は適切か、見解を伺う。</p> <p>(7) 除雪車の配備増や小型除雪機械の貸出、購入費の補助（隣保や自治会単位・共助の道具として）が必要と考える。見解を伺う。</p> <p>(8) 今回のように長期間、市民生活が混乱した事態は大雪に限った話ではない。夏季には豪雨（線状降水帯）の可能性もある。危機管理の観点から防止策について伺う。</p> <p>(1) 現在の清嵐荘の売上高・損益状況について伺う。</p> <p>(2) 清嵐荘改築整備事業の目的・意義は何か、新しい清嵐荘はどのような施設を想定しているか。コンセプトは平成 29 年 8 月の産業建設常任委員会で示された通りでよいか、伺う。</p> <p>(3) 総建設費はいくらになるか。予定財源と最終的に本市が負担することになる金額について伺う。</p> <p>(4) 清嵐荘には食堂や露天風呂が設けられることになっている。その利用は宿泊客のみを対象としているか、宿泊客以外の一般市民も利用できるか、伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(5)清嵐荘の宿泊定員、食堂施設（面積・客席数）、露天風呂面積等、館内施設の仕様について伺う。</p> <p>(6)食堂面積と客席数、露天風呂の面積の設定根拠について伺う。</p> <p>(7)サービス産業の基本的特徴を踏まえ、その設定が妥当か、理由も含め確認する。</p> <p>(8)清嵐荘の利用料金（一泊二食、食事、入湯）、客単価ほどの程度を想定しているか。</p> <p>(9)清嵐荘の年間売上（宿泊人数）、損益分岐点売上（宿泊人数）について想定している目標とその根拠を伺う。</p> <p>(10)宿泊者が少ないと限界利益の低下を招き、損益分岐点を急激に高める。その結果、本市の支援額が増加する懸念がある。見解を伺う。</p> <p>(11)清嵐荘のハードの問題、若しくはハードに起因する運営上に問題が生じた場合、誰が瑕疵責任を負うか。</p> <p>(12)清嵐荘の運営は指定管理者を公募により選定するか。どのように決定するか。決定する基準は何か、伺う。</p>	
7	3	松 林 孝 之 (一問一答)	1.雲南市ならではの教育とその魅力化について	<p>(1)学力調査について 例年行われる小学6年生と中学3年生を対象とした学力調査の結果が発表された。</p> <p>①市内小中学校の調査結果は近年との比較においてどうであったか。</p> <p>②指導力向上のためのスーパーティーチャー制度等、学力向上の具体策の成果を伺う。</p> <p>③学力向上の今後の具体策は。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(2)おんせんキャンパスについて</p> <p>①なくてはならない施設であるが、利用ニーズの多様化等、現状と課題を伺う。</p> <p>②家庭環境による子どもの貧困が叫ばれる中、利用者に対してのケアは十分か。</p> <p>③おんせんキャンパスの今後の展開は。</p> <p>(3)義務教育学校と校舎更新について</p> <p>昨年 9 月に一般質問で義務教育学校制度について検討するとの答弁であった。</p> <p>①広島県府中市では、平成 29 年度より市内小中学校をすべて義務教育学校制度導入されたが、従前より小中一貫教育の取り組みがなされていた。この一貫教育に対する見解、また一貫教育校と義務教育学校の最大の違いは何か。</p> <p>②義務教育学校制度導入のメリットは何か。また、導入する際は全市的な展開とするのか。</p> <p>③市内小中学校校舎(体育館含む)で更新時期が迫る学校はどこか。</p> <p>④義務教育学校制度導入と校舎更新は同時進行がベストではあるが、まずは制度の確立と地域や保護者の理解が必要不可欠であり、スピード感をもってやらなければならない。いつから導入するのか期限を決めて臨むべきでは。</p> <p>(4)市内 3 高校の魅力化について</p> <p>市内 3 高校の魅力化は本市の未来を創造する上で大変重要な施策である。</p> <p>①市内中学生と市外・県外の中学生であっても感じる魅力には差が</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>生じる。ましてや保護者目線の魅力は更に異なってくる。学力向上(一流大学進学)・部活動の充実・資格取得など、それぞれに伝わる具体的で明確な魅力推進を展開すべきでは。</p> <p>②人口減少による人手不足は、喫緊の課題であり全国的な現象となっている。企業誘致においても人員の確保が出来る情勢を構築しなければ、条件的に不利な要素となる。企業目線から見た、即戦力となる資格やスキルを持つ人材育成のために、三刀屋高校総合学科を更に発展させ、実業高校的な学科を設けてはどうか。</p> <p>(5)キャリア教育と地域課題について</p> <p>教育フェスタにおいて地域課題を研究する高校生が増え、内容も年々充実してきている。</p> <p>①市内女子高生がマイプロジェクトアワードで「まちなかラボ」を提案した、木次の三日市ラボをモデルとした学生の拠り所を作ってはどうかというアイデアである。中高生の学習の場としての機能や、大学生や地域の大人を巻き込むこともできる多様な可能性を秘めた展開が期待できるが所感を伺う。</p> <p>②市議会定例会の一般質問を木次中学校の生徒が定期的に傍聴しているが、その展開を広げ高校生による模擬議会「高校生による課題解決議会」を開催してはどうか。18歳選挙権がスタートした今日、生徒自身のスキルアップと若者目線の課題解決の提案、更には行政と議会に興味を持つことは地域にとっても大きな意味と期待が高まる。キャリア教育の一環として提案するが見解を伺う。</p> <p>③若者目線や現場目線こそ、教育魅力化発見の源であり課題解決の糸口となる。未来希望図を描く教育こそ妥協せず、理想を求め魅力</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				化の推進をすべきであるが見解を伺う。	
8	15	細 田 実 (一問一答)	1. 地方創生と人口 対策について 2. 地域医療と市立 病院について 3. 食の幸発信事業 について	(1) 雲南市総合戦略において人口増対策を掲げ様々な対策を行っているが、人口は減少しつつある(人口の社会減)。その要因をどのように分析しているか。 (2) 様々な施策は有効に機能しているのか。具体的な成功事例はなにか。 (3) 国の『地方創生』のもと地方間の競争、地方の責任に転嫁されているのではないか。人口減は構造的な問題であるので、具体的政策を積み上げ、安心して暮らせる雲南市づくりが大切と思うがどう施策を展開するか。 (1) 2年に一度の診療報酬改定、3年に一度の介護報酬改定が重なる6年に一度の年となるが、特に診療報酬改定は市立病院経営(財政)および経営方針(医療のあり方)にどのような影響をもたらすか。どのように取り組むのか。 (2) 医療費増の中で在宅療養推進をする「地域包括ケアシステム」がいられているが、在宅医療などそれに対する市立病院の取り組みを伺う。 (3) 今後の地域医療を維持していくためには医療関係者の労働条件の改善が必要と言われている。医療を拒めない現場においての取り組みの難しさはあると思うが、市立病院ではどのように取り組まれているのか。 (1) 食の幸発信事業は今日まで「6次産業化の拠点施設の整備」とされてきたが、今回の所信表明では「6次産業化」との表現はない、どのような事業をイメージすればよいか。当初コンサルタ	市長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>4. 防災について</p> <p>5. 教育魅力化について</p> <p>6. 島根原発について</p> <p>7. 平和行政について</p>	<p>ントに委託して計画をつくったが変更された。今回の具体的計画への民間のノウハウ活用のイメージを伺う。</p> <p>(1)防災無線の整備を実施計画に挙げられた。2回の具体的検討を行ったが市内の情報伝達カバー率が悪く断念した。今回の計画の概要を伺う。</p> <p>(1)市内高校3校すべてに「仮称チャレンジハウス」の整備を目指すとの表明があったが「仮称チャレンジハウス」とはなにか伺う。</p> <p>(1)中国電力は新規稼働を目指す島根原発3号機の審査申請を早期に行いたい旨島根県に伝えた、との報道がされたが、雲南市に対して中国電力からの伝達があっているのか。</p> <p>(2)中国地方では電力不足が起きていない中で原発の必要性、特に3号機の必要性があるのかから議論する必要がある。3号機の稼働は原発のない社会の実現をさらに遅らせることとなる。慎重な対応が必要だ。周辺自治体として初めて向き合う課題となるがどのように考えているか。</p> <p>(1)北朝鮮問題を取り上げながら「先制攻撃も辞さない」と受け取れる国会答弁など平和国家としての日本の根幹が問われる事態を憂慮するが、今こそ、核兵器廃絶、平和行政推進の地方の力（島根では特に雲南市）が問われているのではないか。平和行政、平和教育推進について市長、教育長の見解を伺う。</p>	
9	7	白 築 俊 幸 (一問一答)	1. 市内小中学校の 制服について	<p>(1)一般的に制服の効用は何か。また、小中学校における制服の意味は。</p> <p>(2)市内小学校の通学服は、制服、自由服とマチマチであるが、決定</p>	市長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 掛合診療所の市立病院の分院化について</p> <p>3. 障がい児移動支援事業について</p>	<p>の経緯は。</p> <p>(3) 制服と自由服、それぞれの良い点、悪い点は何か。</p> <p>(4) 制服と自由服の保護者の経済的負担はどうか。</p> <p>(5) 中学校は全校とも制服になるが、何故か。</p> <p>(6) 市内を必ずしも統一する必要はないと思うが、今後の対応を伺う。</p> <p>(1) 医療過疎になっている周辺地域の医療水準の確保についての所見を伺う。</p> <p>(2) 市立病院と掛合診療所とを統合することによる病院経営への影響はどうか。</p> <p>(3) 分院化することにより、掛合診療所はどの様になるのか。</p> <p>(4) 分院化を推進するに当たって、経営問題以外の課題はあるのか。</p> <p>(5) この推進に当たっての市の意気込みを伺う。</p> <p>(1) 市内の障がいのある児童が、松江にある特別支援学校へ通学するための支援を児童宅から遠く離れた地域にある事業所で対応されている。</p> <p>① 移動支援を行う為には一定の設備を備えた車輛が必要であり、小規模な事業所にとっては大きな出費となるが、何らかの支援策が考えられないか。</p> <p>② 児童宅から松江まで 40 km、事業所から児童宅まで 36 kmある。移動支援には介助員が同行しなければならないが、介助費は児童宅から松江までしか対象とならない。事業所から児童宅までの 36 kmは切り捨てられているが、対応出来る事業所が少ない中山間地域の実態からすれば見直しが必要ではないか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 出雲たたら村について	<p>援を行うと云うまさに画期的・目からうろこの取り組みが行われていた。28年9月議会で市長もできることは真似てでも雲南市バージョンとしてやらなければならない旨の答弁をされた。</p> <p>① 昨年も同趣旨の質問をした。「簡単ではない。時間が必要」との答弁だった。30年度は検討されたのか。</p> <p>② 周辺地域の人口が激減している。特に吉田町では人口減少が激しく、なかでも子供の数が激減している。周辺地域の現状をどのように認識されているか。</p> <p>③ 住宅費や保育料等の無料化あるいは大幅助成など、周辺地域に子供を呼び込む施策が今こそ必要と思うができないか。</p> <p>(2) 吉田町深野のガソリンスタンドの撤退問題について、2月19日にサンコープ雲南から今年度限り、3月中で撤退すると通告された。過疎地域にとって死活問題だ。</p> <p>① 昨年の吉田地区市政懇談会で参加者からの質問に対して、市長は「公金を民間事業に交付はできないが中山間地域のエネルギーをどう担保するかという視点から対策があれば積極的に活用する必要があると思う。知恵と工夫を凝らしていく必要がある」との答弁をされた。残された時間は少ないが、ガソリンスタンドの消滅は周辺地域にとって計り知れない大きなダメージとなる。残された道は親会社とのトップ協議しかないと思う。市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 掛合町の出雲たたら村について、この施設は今後どうなるのか。映画たたら侍のDVDが販売され、瑞風が運行される中、昨年の閉館後もかなり訪れる人もあると聞く。観光地の選択肢の一つとして活用価値があると云う意見がある。市としてどのようにされる考えか伺</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>4. 総合センターの整備方針について</p> <p>5. たたらば壺番地の活性化について</p>	<p>う。</p> <p>(2) この施設の所有者はだれか。最終処分はだれがどのようにするのか伺う。</p> <p>(1) 平成 26 年度総合センターの整備方針に基づき各センターが整備されている。残る吉田総合センターの扱いについて平成 29 年度中に検討するとなっている。検討結果を伺う。吉田保育所の移転についても併せて検討が必要だと思うがいかがか。</p> <p>(2) 吉田町については原子力災害対策の中で 30Km 圏外の緊急避難本部に指定されている。このためのトイレ等基本インフラ整備が必要と思うが検討されているのか。</p> <p>(1) たたらば壺番地の活性化策について問う。</p> <p>① たたらば壺番地はオープン以来 5 周年を迎える。50 万人を早々に突破して以降、来客数も減少傾向にあると聞く。現状と対策を伺う。</p> <p>② 南の玄関口としての役割を果たすことが重要であり、観光協会等関係機関との密な連携が求められている。行政側から率直な提案・指導が必要ではないか</p> <p>③ 施設管理者として必要な施設整備は早急に対応すべきだ。特に授乳室とバス乗務員の休憩所、外部イベント用の電気設備は現場から強く求められている。早急に対応すべきと思うがどうか。</p> <p>④ 松江・尾道線は高速自動車専用道路であるが生活道路でもある。4 車線化もしくは追い越し車線の増設が必要だ。要望時期が来ているのではないか。</p>	
11	11	藤原政文 (一問一答)	1. 農業の振興について	(1) 国の農業関係の主な数値目標 (KPI) のうち「担い手への集積率」、「担い手の米の生産費」の本市における進捗状況は。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 学校教育について</p> <p>3. 地方創生について</p>	<p>(2)本市の農業は水稻が中心であるが、新年度予算を見ると、水稻に対する予算が減り、園芸関係が増えている。これからの農業を考えた誘導策か。</p> <p>(3)農業の担い手フォローアップ事業は継続され、連携組織への補助額が上積みされる。連携を促進するための促進策か。</p> <p>(4)上記(2)、(3)の施策の理解を深めるため説明会等の啓発が必要だ。見解を伺う。</p> <p>(1)教育魅力化推進会議から第一次提言があった。</p> <p>①市内3高校への進学率が低い要因は何か見解を伺う。</p> <p>②「特色ある教育活動」、「差別化」とあるが、これからの時代を見据えた教科、例えばAI関連に繋がる学習ができるコースを設けることはできないか。</p> <p>(2)「プログラミング教育」について</p> <p>①2020年に向けての取組状況は。</p> <p>②「土曜日英語」のように、「プログラミング教育」を社会教育として先行して実施する考えはないか。</p> <p>③「プログラミング教育」など新しい教育が始まると、少人数クラスの方がより習熟度が上がると指摘する声もある。小学校の統廃合を検討する際、重要な視点だと思う。その後の統廃合の議論の状況はどのように進んでいるか。</p> <p>(3)「義務教育学校」の検討が始まる。導入を前提としての検討か。</p> <p>(1)松江市、出雲市への人口流出が拡大している。何故、雲南市ではないのか、雲南市に足りないものは何か、流出の要因をどのように分析しているか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(2)仕事の分野をさらに強化すべきと考える。見解を伺う。</p> <p>(3)教育分野でも、大学生などのさらなる受入れにより、本市にとり新たな価値創造などのメリットを得る可能性がある。教育による地方創生に対する見解を伺う。</p> <p>(4)観光産業は、可能性を秘めている。観光に対しどのような検討がされているか伺う。</p>	
12	1	上 代 和 美 (一問一答)	<p>1. 市長の政治姿勢を問う</p> <p>2. 生活苦への対応、くらしの支援について</p>	<p>(1)今年安倍首相は9条を含む憲法改正を発議しようとしている。市長はこれまでの私の質問に対して、改憲問題は国会が決めることと言ってきたが、歴史的な転換点にあってその様な姿勢で市民の安全安心は守れるのか。所見を伺う。</p> <p>(1)安倍政権の5年間で格差が拡大し、貧困が悪化している。市民の暮らしを大きく圧迫しているものの一つに国民健康保険料がある。払いたくても払えない、たとえ払えたとしても生活を圧迫する状況になっている。この現状をどう認識されているのか。保険者が都道府県化されても、保険料を決めるのは市である。一般会計からの法定外繰り入れなどで軽減を図るべきだ。</p> <p>(2)生活困窮者支援の問題では、昨年3月議会で滋賀県野洲市の通称「ようこそ滞納していただきました条例」を紹介した。市でも似たシステムで努力されている。生活困窮者は相談窓口への敷居が高くなっていて、なかなか相談にいけない状況にある。滞納を生活困窮のシグナルとして相談導入ができないか。</p> <p>(3)野洲市の条例には、「生活困窮」を理由に徴収停止ができる規定や「生活困窮」を理由に債権放棄ができる規定がある。差し押さえよりも債務整理の方が納税額を生み出すし、なによりも市民生活安定に</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 子育て支援・定住対策について</p> <p>4. 雲南病院の特別室運用について</p> <p>5. 雪害対策について</p>	<p>つながる。野洲市に学び、条例の改正など発想の転換を図るべきではないか。</p> <p>(1)子どもの貧困は重大な社会問題になっている。教育の保護者負担の軽減の柱として、学校給食の無償化を決断すべきと思うが、見解を伺う。</p> <p>(2)子どもの医療費無料化は全国の自治体に広がっている。様々な団体の国への運動が実り、平成30年度からは自治体が負担していた医療費のペナルティーが、就学前までのものがなくなる。これを原資に子どもの医療費の無料化を高校生まで拡大を図るべきではないか。</p> <p>(3)吉賀町ではこの二つの施策を実施し、人口増の成果をあげている。生活苦対策と若者を呼び込む定住対策と一体の問題として、思い切った施策を打ち出すべきではないのか伺う。</p> <p>(1)雲南病院の特別室（特別療養環境室）の運用にあたっては、厚生労働省の通知（平成26・3・26保医発第0326第1号）によって規定している差額ベッド代を求めている場合を準拠すべきではないか。</p> <p>(1)連担地での除雪は、沿線住民の理解や合意が必要である。積雪シーズン前に、雪捨て場、雪置き場などもふくめて地元との話し合いを行い、危機管理の準備をすべきである。</p> <p>(2)昨年は除雪が行われなかったために、大東地内の透析患者が病院へ行けないということもあった。通院できないことは透析患者の命に係わる問題になる。雲南病院通院でない方も含め、患者の所在がわかる関係部署と建設部が連携し、病院に出られないということが起こら</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			6. 原発問題について	<p>ないよう対応を検討すべきだ。</p> <p>(3)限られた除雪機・マンパワーでの除雪作業となる。例えば、前もって各交流センター単位で除雪計画の全体像を具体的に住民に周知してはどうか伺う。</p> <p>(1)中国電力は島根2号機の審査状況を島根、鳥取両県の関係自治体で説明をし、3号機については新規規制基準適合性審査申請に関し、3月以降に島根県への手続き入りの申し入れを行うとの報道があった。今年は大変な局面を迎える年となる。</p> <p>7年目を迎える福島の実況、核燃サイクルのいきづまり、避難計画の問題などどこからみても再稼働はありえない状況である。</p> <p>①島根県、松江市と同じ条件の安全協定を何としても締結すべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>②「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟」による「原発ゼロ・自然エネルギー基本法案」発表</p> <p>伊方原発差し止めなど新しい動きが起こっている。「原発ゼロ」の決断と一体に、再生可能エネルギーの飛躍的普及を図ることこそ、市民の安心安全を守り、現実的で、真に未来ある道ではないか。見解を伺う。</p>	
13	4	中村辰真 (一問一答)	1. 移動期日前投票所について	<p>(1)昨年行われた衆議院総選挙では、当日の投票所が遠く行くことが出来ず、期日前投票に切り替えた高齢者の方々と懇談する機会があった。その中で、期日前投票に行こうにも仕事をしている家族の都合でなかなか行くことが出来なかった。また期日前投票に行ったが来場者が多く待ち時間が長く投票をあきらめて帰宅した。などの意見があった。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 積雪時の対応について</p> <p>3. 観光について</p>	<p>① 高齢化が進む本市においても、浜田市が実施している巡回型の移動期日前投票所を行う必要があるのではないかと考えるが見解を伺う。</p> <p>② 期日前投票の宣誓書を投票入場券の裏に印刷する考えは今でもないのか伺う。</p> <p>(1) 今シーズンの積雪は近年にない様相を呈していた。昨年同様に今年も早朝より除雪に関する意見を頂いた。</p> <p>①道路に対する除雪の優先順位の考え方を伺う。</p> <p>②除雪が追いつかず渋滞が発生した状況下では、緊急車両の走行に支障をきたす。対応策は考えてあるのか伺う。</p> <p>③今シーズンも通学路に対する除雪がなされていないが、児童生徒の安全安心の確保の考えを伺う。</p> <p>④除雪に対しては多くの不満の声を聞いている。小回りのきいていた総合センターの縮小の影響だとする意見も聞くが見解を伺う。</p> <p>(2) 積雪時の安全対策について</p> <p>①市民バスのタイヤチェーン装着について、何を判断基準とし誰が判断するのか伺う。</p> <p>(1) 2017年の外国人観光客数は2,869万人となり、2020年には4,000万人規模との目標も示されているインバウンド。本市においても外国からの観光客日本の神話の故郷として外国人の集客に目を向ける時と考える。</p> <p>①インバウンドに対しての現状と今後の集客目標を含めた取り組みの方向性を伺う。</p> <p>②市内在住の外国の方々に、SNSを活用し本市の様々な情報を、積極</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 永井隆記念館について	<p>的に自国を含む海外へ発信してもらうことはできないか考えを伺う。</p> <p>(2) トワイライトエクスプレス瑞風の立ち寄り観光の今後について</p> <p>① 瑞風の立ち寄り観光は好評であり来年度の継続も決定している。更なる継続を確保するためには、新たな立ち寄り観光先の開発が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) 観光列車「あめつち」について</p> <p>① 本年7月から新たな観光列車「あめつち」の運行が開始される。木次線への乗り入れ、もしくはトロッコ列車との連携ができないものかと考えている。現時点での構想を伺う。</p> <p>(4) 観光資源について</p> <p>① 本市の観光資源に対する考えを伺う。</p> <p>② 最近「ヤマタノオロチツアー」について聞かなくなった。このツアーの現状を伺う。</p> <p>③ 三種の神器の1つである「草薙剣」。オロチ神話の隠れたアイテムであると考え。本市観光においてオロチ神話をもっと押し出す意味においてレプリカの作成は考えられないか見解を伺う。</p> <p>(1) 長崎の鐘について</p> <p>① 「長崎の鐘」は永井隆博士の随筆である。実際の鐘では浦上天主堂の瓦礫の中から掘り出された鐘を「長崎の鐘」とされていることはあまりにも有名である。また長崎の鐘は原爆投下の第一目標であった小倉にも存在する。長崎の永井隆記念館と姉妹館である本市の永井隆記念館に長崎の鐘が無いのはさみしいと考えるが見解を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
14	10	周 藤 正 志 (一問一答)	1.市の懸案事項について 2.危機管理について 3.大型事業におけるソフト対策について	<p>市の現在の最大の懸案は、㊦驚異的に回復した財政の健全化であるが、今後地方交付税が減少していく中で、多くの大型事業に取り組むことで悪化していくことと、㊧若者の松江、出雲への転出が多く、人口の社会増どころか、社会減が拡大していることである。</p> <p>(1)多くの大型事業は合併特例債が H31 年度終了であることから、かけ込みではないかとの批判がある。それぞれの大型事業の必要性を市民が納得することが第一である。その前提が十分でないものもあるので、十分な説明が必要だ。</p> <p>(2)必要性の理解を得た上で、最低限守らねばならない財政指針(例、県は基金・債務残高目標を示している)の範囲内で財政運営をしていく必要があるのではないか。</p> <p>(3)新年度予算案では新たな定住促進の施策が打ち出された。果たして人口の社会減に歯止めがかかり、社会増が実現できるのか。</p> <p>先般、松江市総合体育館が停電し、混乱したとの報道があった。仮に大雪等で大規模な停電が起こった場合、防災拠点としての市役所及び市民生活への影響はどうか。</p> <p>大型事業で多くの施設整備(ハード)がされるが、成否の鍵はソフト部門がどうかだ。</p> <p>(1)雲南市立病院 ①新しく生まれかわるに当たって、市民に何をアピールするのか。 ②改革プランが示されたが経営見通しはどうか。また、何を改革するのか。</p> <p>(2)健康づくり拠点施設 ①収支を含め運営がきちっとなることはもとより、市全体に健康づ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4.県への要望について	<p>くりへの関心、気運が高まることが大事ではないか。</p> <p>(3)清嵐荘 ①指定管理には、リゾート施設運営のノウハウが必要だが大丈夫か。 ②浴場、部屋、食事、接客など質の高さが必要であるがどう考えているか。</p> <p>(4)永井隆記念館 ①平和教育の拠点として企画・活動し、情報発信していく施設にしなければならないのではないか。</p> <p>(1)県道出雲三刀屋線は交通量が多いが、伊萱から出雲へ向かっては道幅も狭く路面もカマボコ状で、冬季の朝晩は凍結のため命がけの運転だ。早急な改良が必要だ。</p> <p>(2)木次線存続のために沿線自治体、住民はさまざまな取り組みをしているが、例えばトロッコ列車の更新に関して県は一体どういう考えなのか。</p> <p>(3)県内の2つの大学はもっと学部、学科を充実させるべきと思う。市内3つの高校は定員割れで市(県)外からの受け入れも寮が古く、修繕もままならない状況だ。学力も低空飛行が続いている。将来への投資である教育にもっと力を入れてもらわなくては困る。</p>	